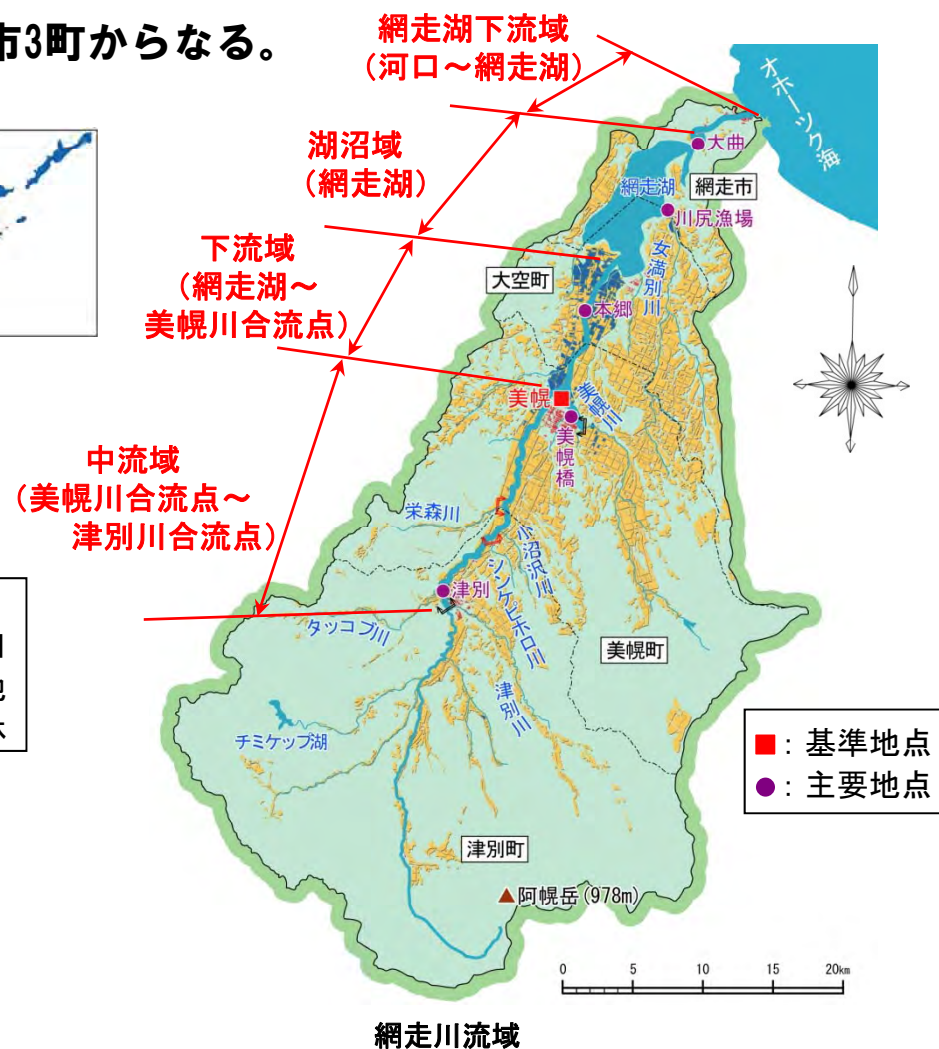


流域及び河川の概要

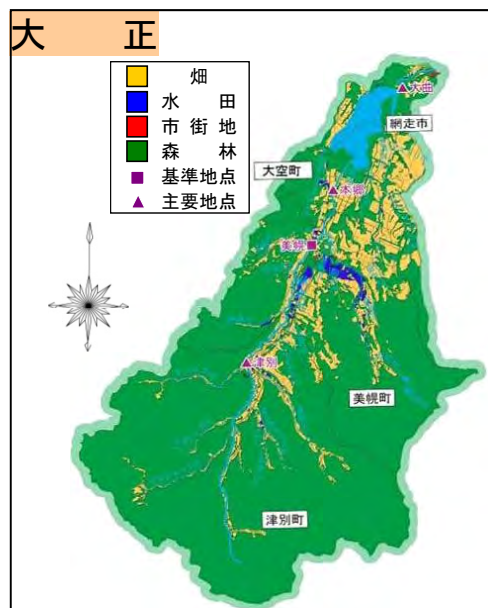
流域及び河川の概要

- ・ 網走川は幹線流路延長115km、流域面積1,380km²の一級河川である。
- ・ 網走川の名前の由来はアイヌ語の「ア・パ・シリ（我が・見つけた・土地）」あるいは「アパ・シリ（入口の・地）」に由来する（出典：北海道の川の名前（著者：山田秀三））。
- ・ 網走川は阿幌岳を源とし、山間部を流下し、平野部を流れながら美幌川を合流して網走湖に至り、オホーツク海に注ぐ。
- ・ 流域内の自治体は網走市、大空町、美幌町、津別町の1市3町からなる。
- ・ 流域内人口は約4.9万人である。

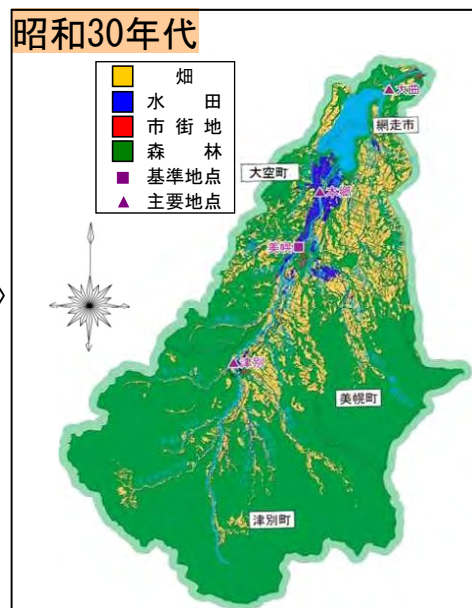


流域の土地利用

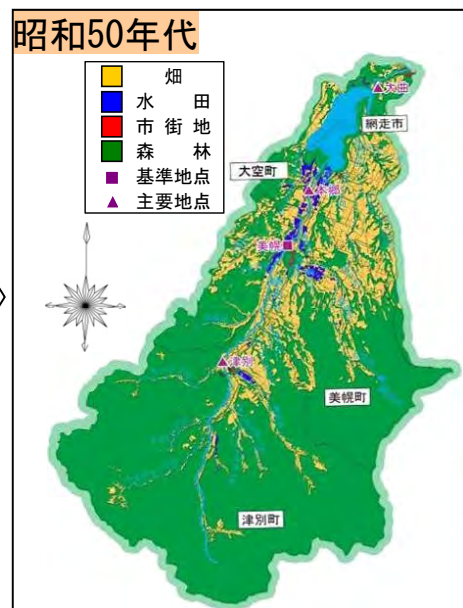
- ・ 網走川流域の低平地では、度重なる洪水・はん濫を契機に、昭和9年以降さまざまな治水対策が施され、河川改修の進捗に伴って土地利用が森林から畑及び宅地等の市街地へと拡大した。



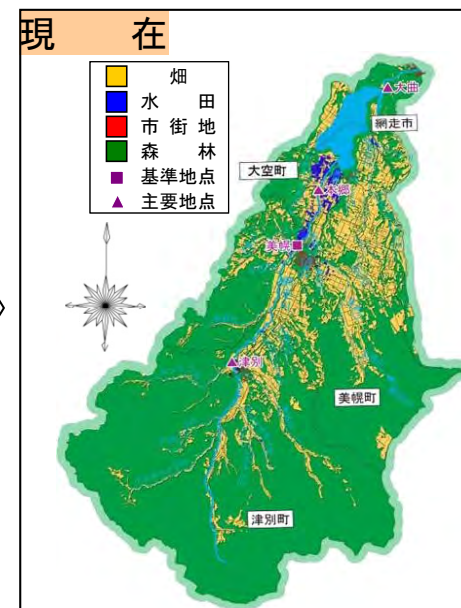
出典：大正12～13年の5万分の1地形図の地目より作成



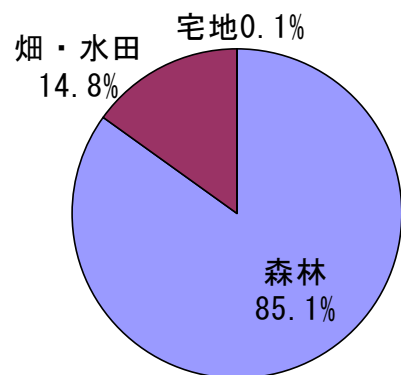
出典：昭和29～30年の5万分の1地形図の地目より作成



出典：昭和46～54年の5万分の1地形図の地目より作成

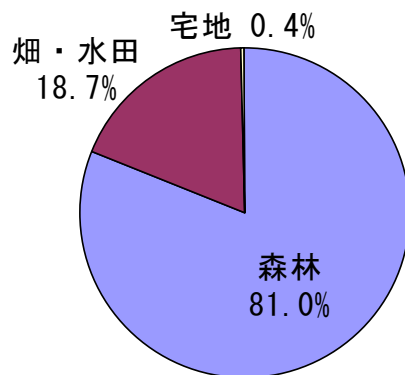


出典：平成3～7年の5万分の1地形図の地目より作成



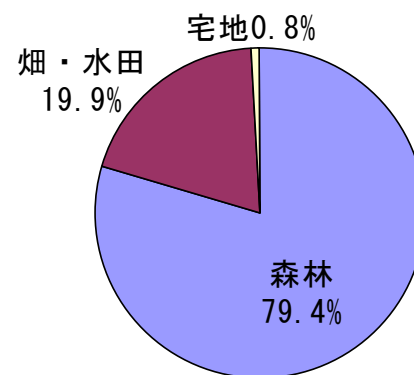
地目別土地利用の割合

出典：大正12～13年の5万分の1地形図の地目より読み取り



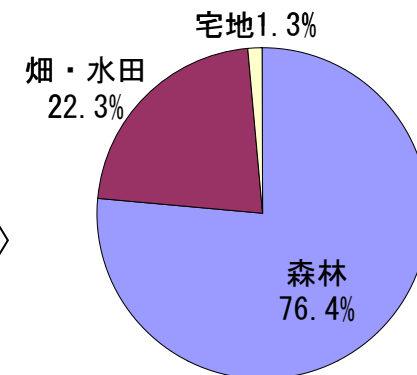
地目別土地利用の割合

出典：市町村勢要覧(昭和29年)の「地目別面積」より作成



地目別土地利用の割合

出典：市町村勢要覧(昭和51年)の「地目別面積」より作成

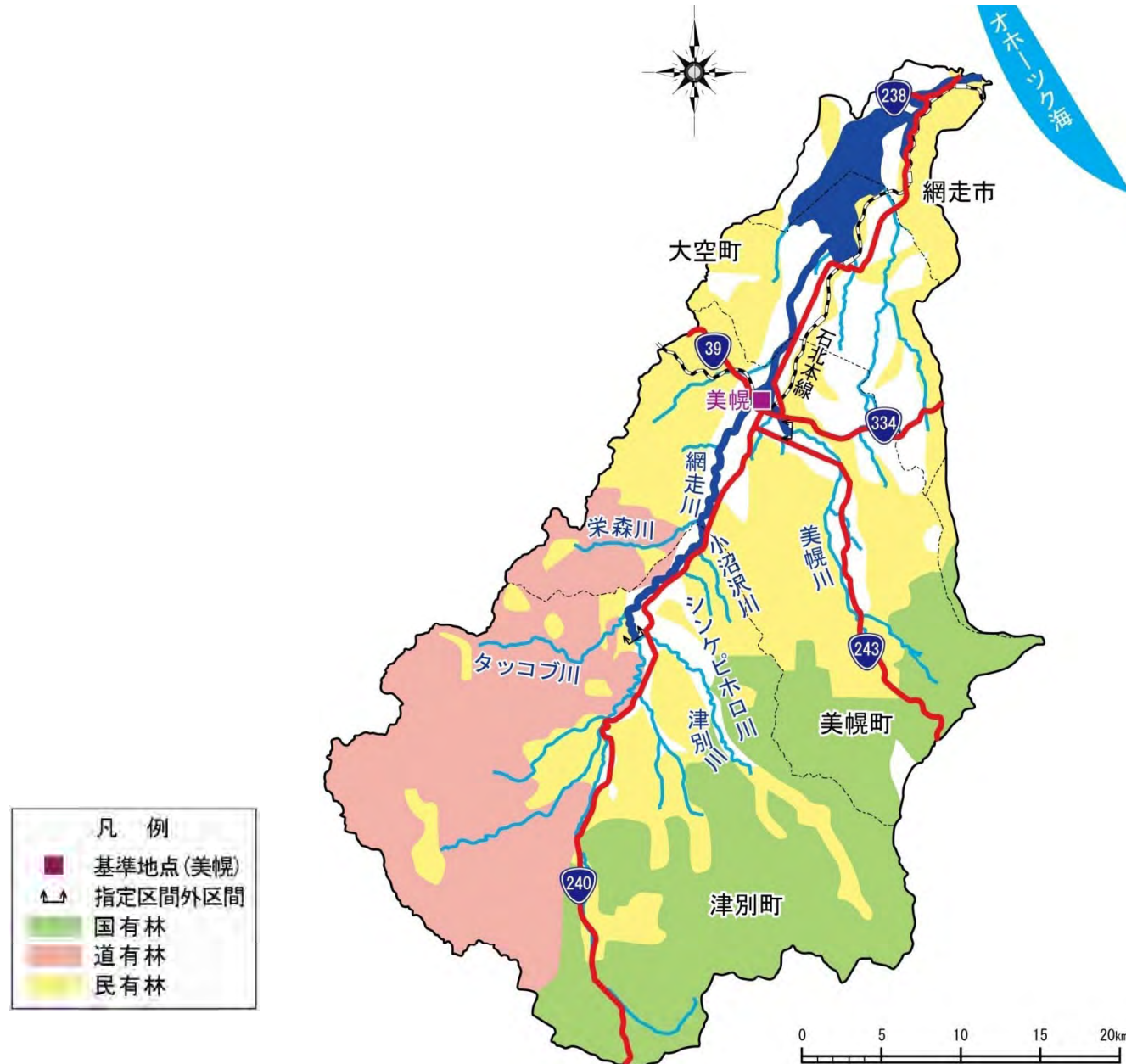


地目別土地利用の割合

出典：市町村勢要覧(平成21年)の「地目別面積」より作成

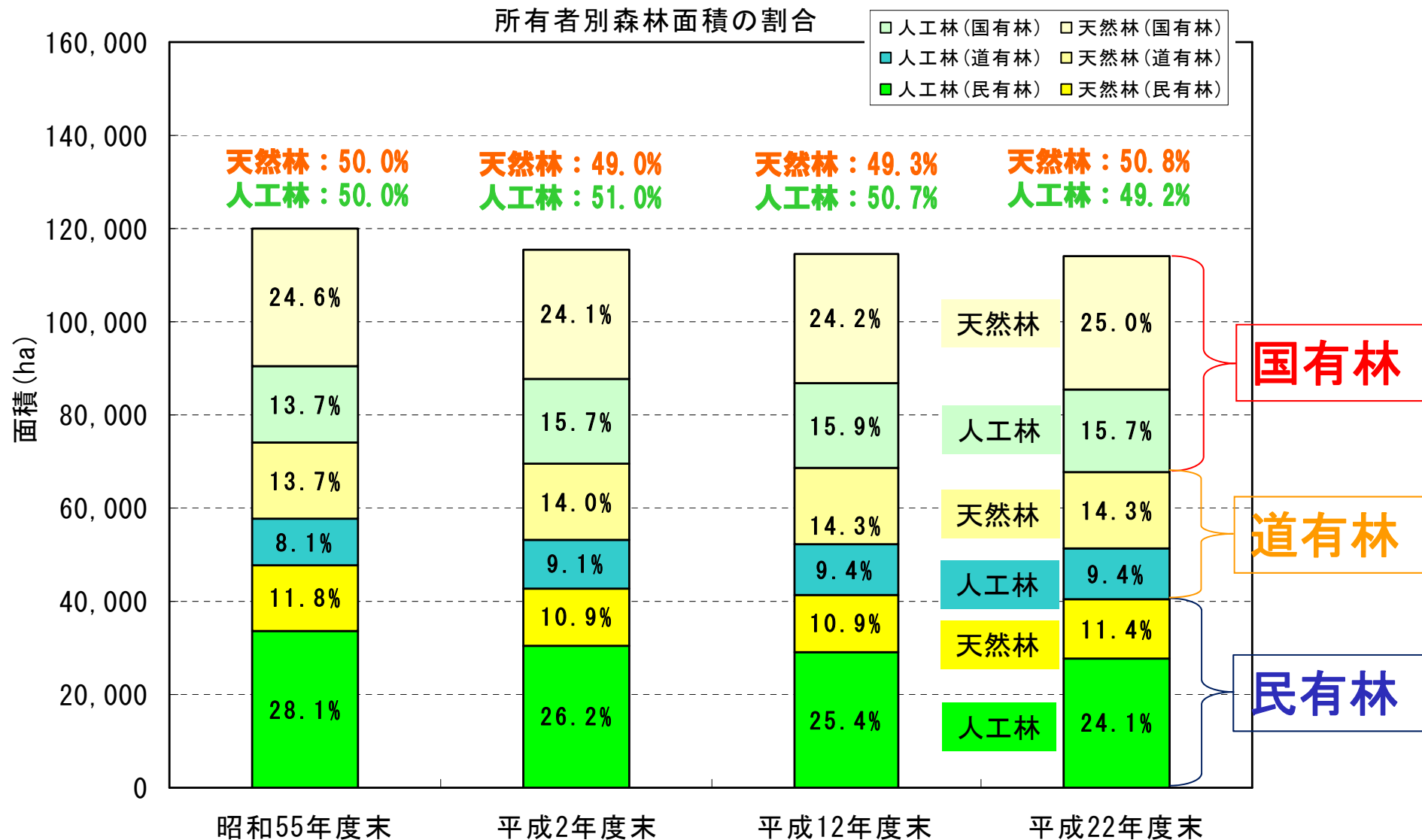
網走川流域における森林の管理者分類

- ・ 網走川流域の国有林と道有林及び民有林の区分は下図の通り。



国有林・道有林・民有林における人工林の割合

- 流域内市町村の国有林、道有林、民有林および天然林、人工林の割合について、全体の森林面積では昭和後期から現在まで大きな変化は見られない。



網走川流域の産業（農業・林業）

- ・流域では、てんさい、小麦、ばれいしょ、たまねぎ等の畑作主体の農業が盛んで、特にてんさい、ばれいしょは全国シェア10%を超える収穫量となっている。
- ・津別町は林業が盛んで、道内の合板、ベニア等の製造出荷額の道内シェア8%となっており、道内一となっている。



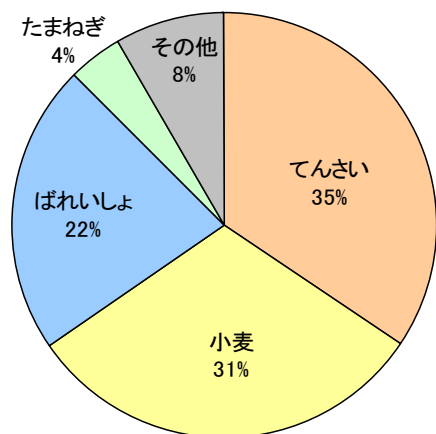
ばれいしょ畑



てんさい畑とてんさいの収穫

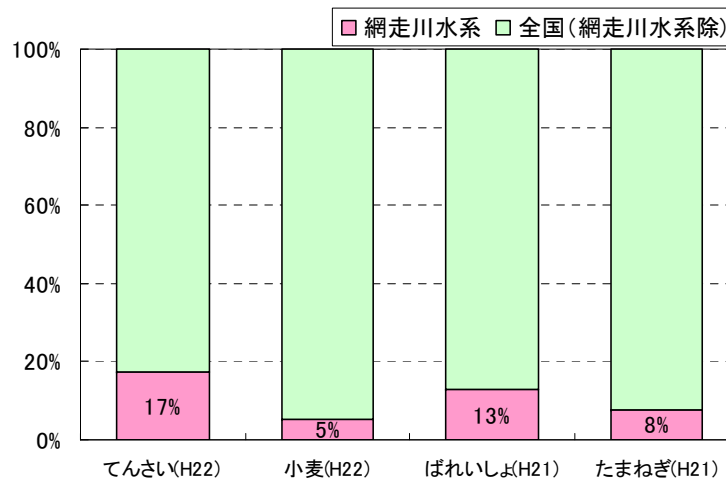


津別町のパレット製材場



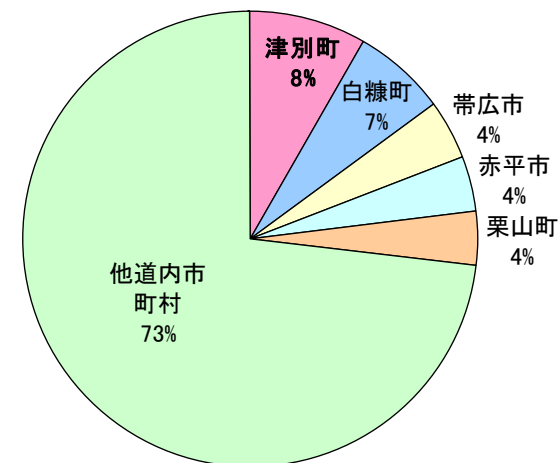
主要産物作付面積の割合(流域内)

出典：平成21年度作物統計
(農林水産省)



主な農作物収穫量の全国シェア(平成21年、22年)

出典：平成21年、22年度作物統計
(農林水産省)



木材・木製品製造品出荷額の道内シェア(平成19年)

出典：市町村勢要覧(平成21年)

網走川流域の産業（漁業）

- ・ 網走湖のワカサギ、シジミ漁獲量は、全道一の水揚げを誇り、全国的にも有名な産地となっており、地元水産物のブランド化に向けた取り組みも進められている。また、ワカサギの受精卵は全国各地の湖沼に出荷されているほか、サケ等の増殖事業を実施し沿岸漁業に貢献している。



7品目のうちワカサギ、シジミ、シラウオ、カラフトマスが網走川に係る水産物。

網走の水産物ブランド化の推進
(ロゴマーク・キャラクター)
出典：網走市ホームページ



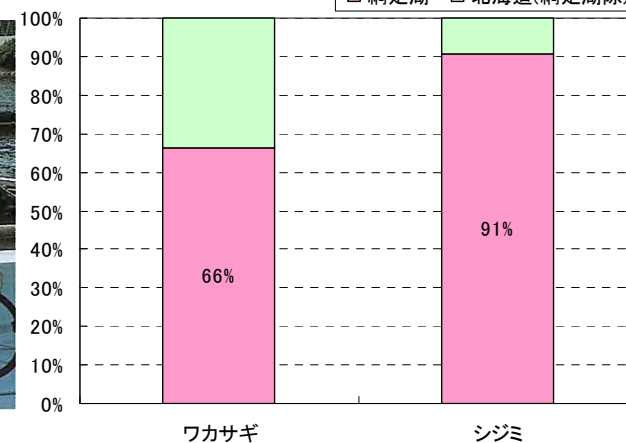
ワカサギの採卵作業



シジミ漁



網走湖下流域のサケマス捕獲施設
(ウライ(やな))でのサケの捕獲状況



ワカサギとシジミの全道シェア(平成21年)

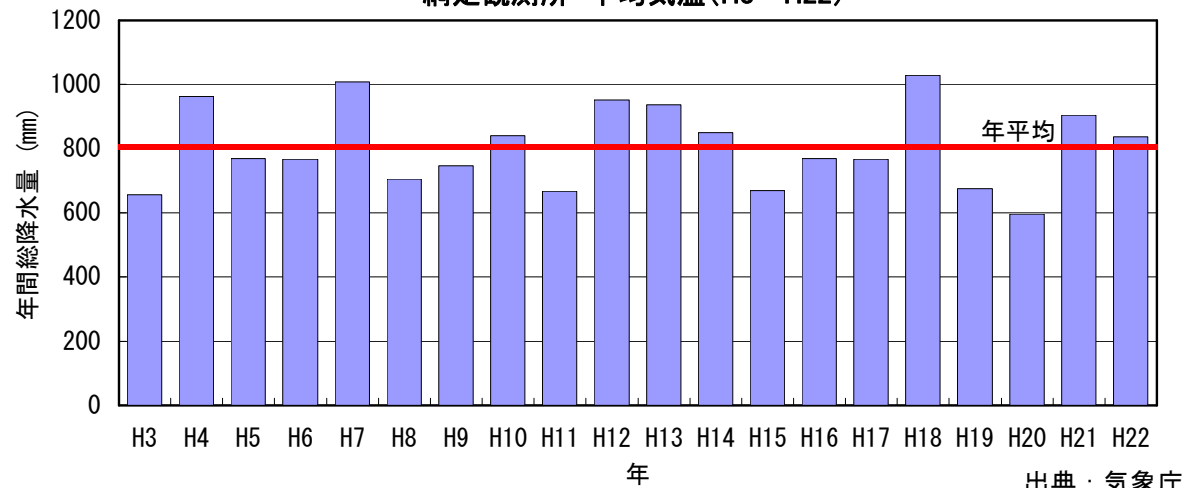
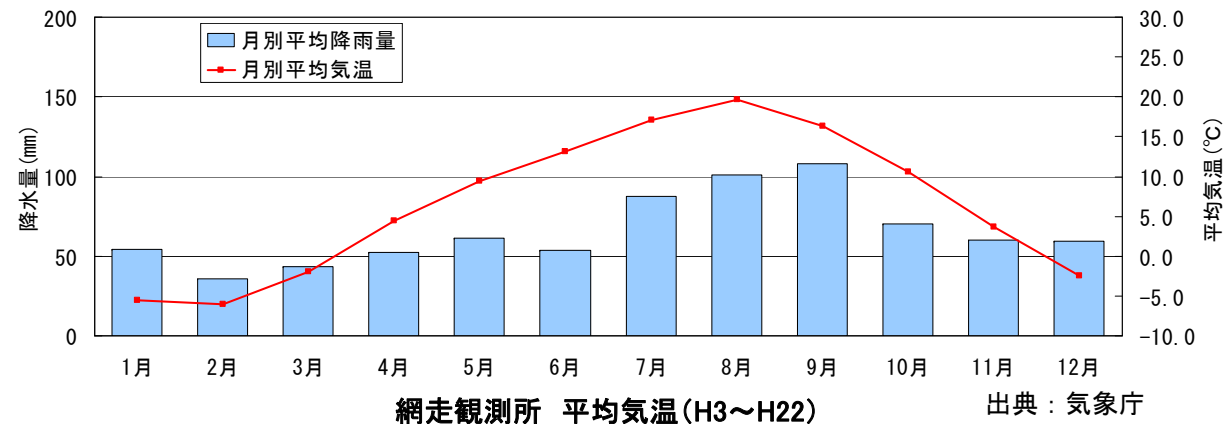
出典：平成21年漁業・養殖業生産統計
(農林水産省)
平成21年網走市水産統計 (網走市)

流域の気象状況（気温・降水量）

- ・流域の気候はオホーツク海側の気候区分に属し、太平洋や日本海側の流域に比べ梅雨や台風の影響を受けることが少ない。
- ・流域の年間降水量は全国平均約1600mm^{注1)}、全道平均約1150mm^{注2)}に対し、約800mmと全国で最も少ない地域となっている。
- ・月別の降水量は台風、低気圧、前線等により8～9月が最も多くなる傾向を示している。
- ・気温は、夏期でも月平均20℃以下と冷涼であり、2月に最も低くなる。

注1) 年間降水量の全国平均は、全国の気象観測所のうち、長期間にわたって観測を継続している51地点の昭和56年～平成22年の平均値

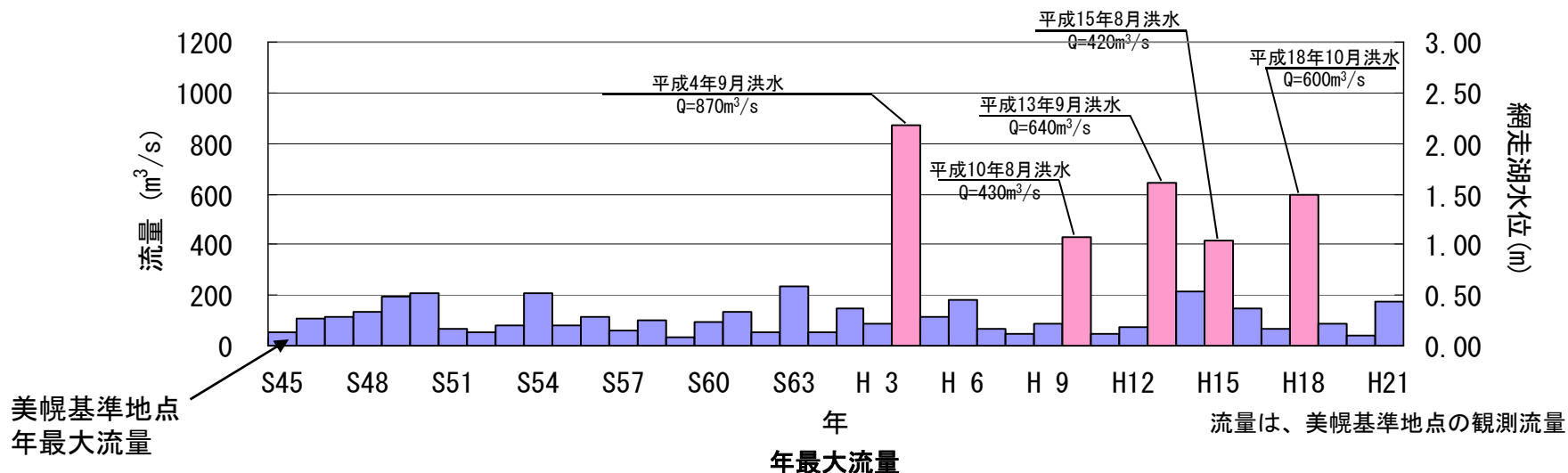
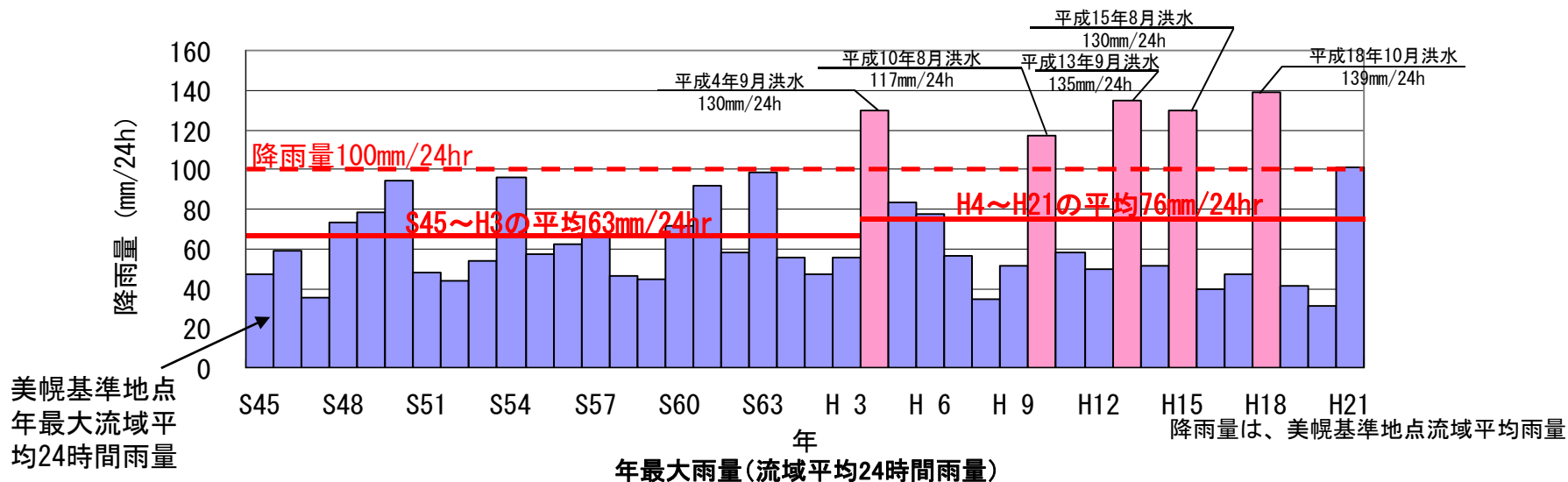
注2) 年間降水量の全道平均は、道内の気象観測所のうち、気象官署である22地点の昭和56年～平成22年の平均値



網走観測所 年間降水量の経年変化図(H3~H22)

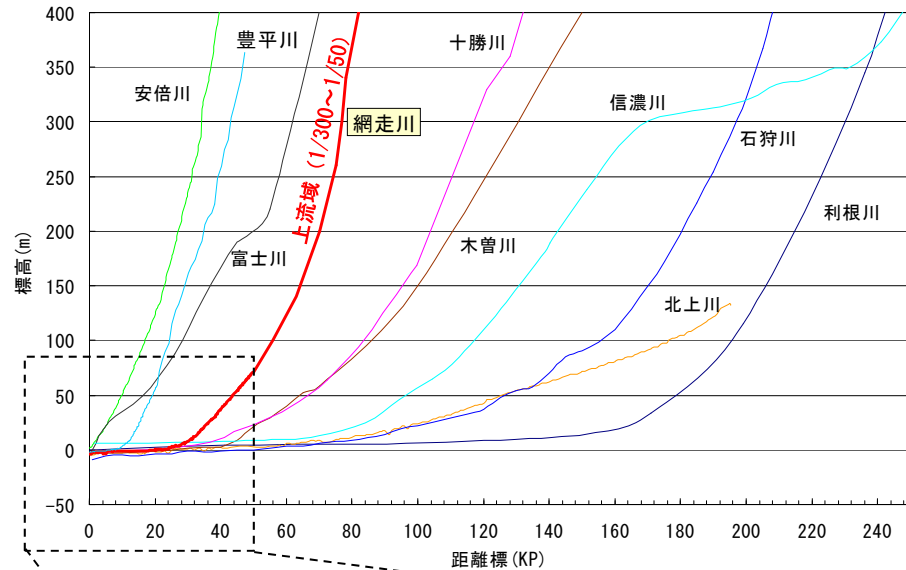
流域の気象状況（年最大雨量・流量）

- 網走川流域では、各年の最大雨量（24時間雨量）で見ると平成4年以降の大雨の発生頻度が増加しており、昭和45年から平成3年まではみられなかった100mm/24hrを超える大雨を5回も記録し、いずれも大きな洪水となっている。

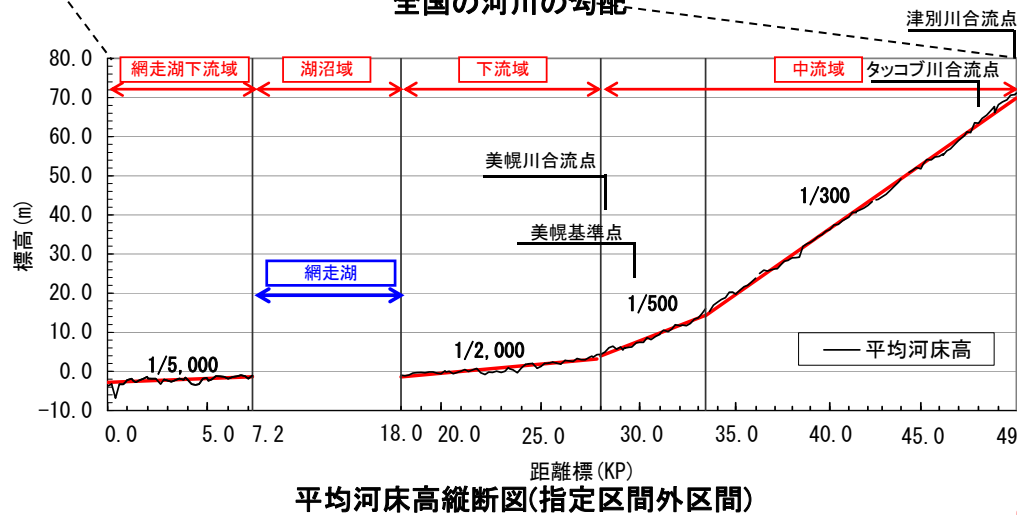


流域の地形

- 流域内には、1,000mを超す標高の山地は見られず、大きく山地、丘陵地、台地、低地、火山地の5種に分類される。
- 網走川は、他河川と比較して急勾配であるが、河口～KP28.0程度までは1/5,000～1/2,000と緩勾配である。
- その後、中流域で1/500～1/300、上流域で1/300～1/50と急流河川の様相を呈していく。



全国の河川の勾配



平均河床高縦断図(指定区間外区間)

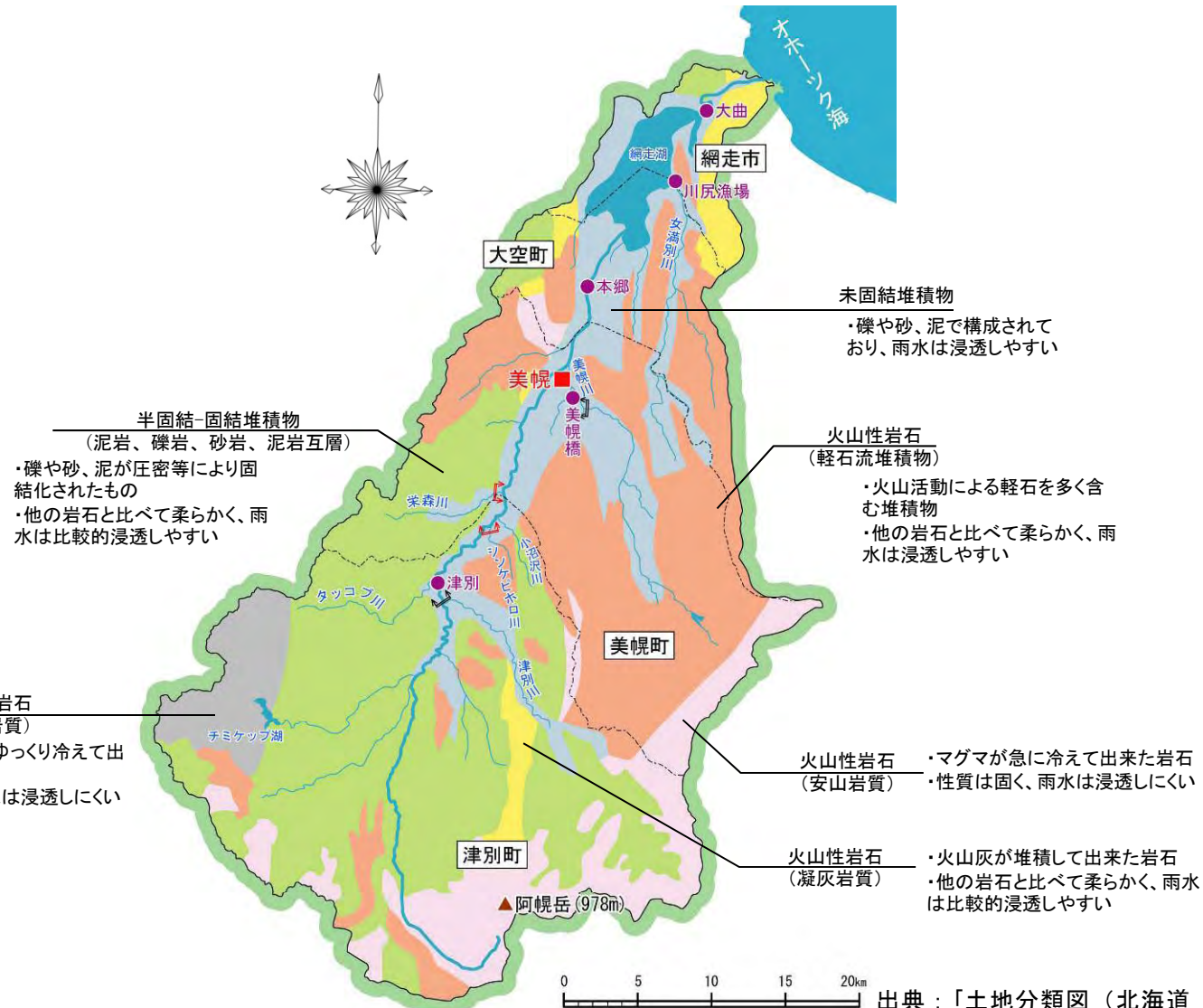


出典：「土地分類図（北海道IV 網走支庁）をもとに作成

流域の地形図

- ・流域の地質は、主に半固結-固結堆積物及び火山性岩石(軽石流堆積物)から構成されている。
- ・半固結-固結堆積物は主に上流域に分布している。
- ・中下流域の東側には屈斜路湖周辺の火山を噴出源とする火山性岩石(軽石流堆積物)が分布している。

凡 例	
	流 域 界
	河 川 ・ 湖 沼
	市 町 村 界
	基 準 地 点
	主 要 地 点
	指 定 区 間 外 区 間
	2 条 7 号 区 間
	未 固 結 堆 積 物
	半 固 結 - 固 結 堆 積 物 (泥岩、礫岩、砂岩・泥岩互層)
	火 山 性 岩 石 (軽 石 流 堆 積 物)
	火 山 性 岩 石 (凝灰岩質)
	火 山 性 岩 石 (安山岩質)
	火 山 性 岩 石 (輝緑岩質)



流域の地質図

出典：「土地分類図（北海道IV 網走支庁）をもとに作成

流域の交通網

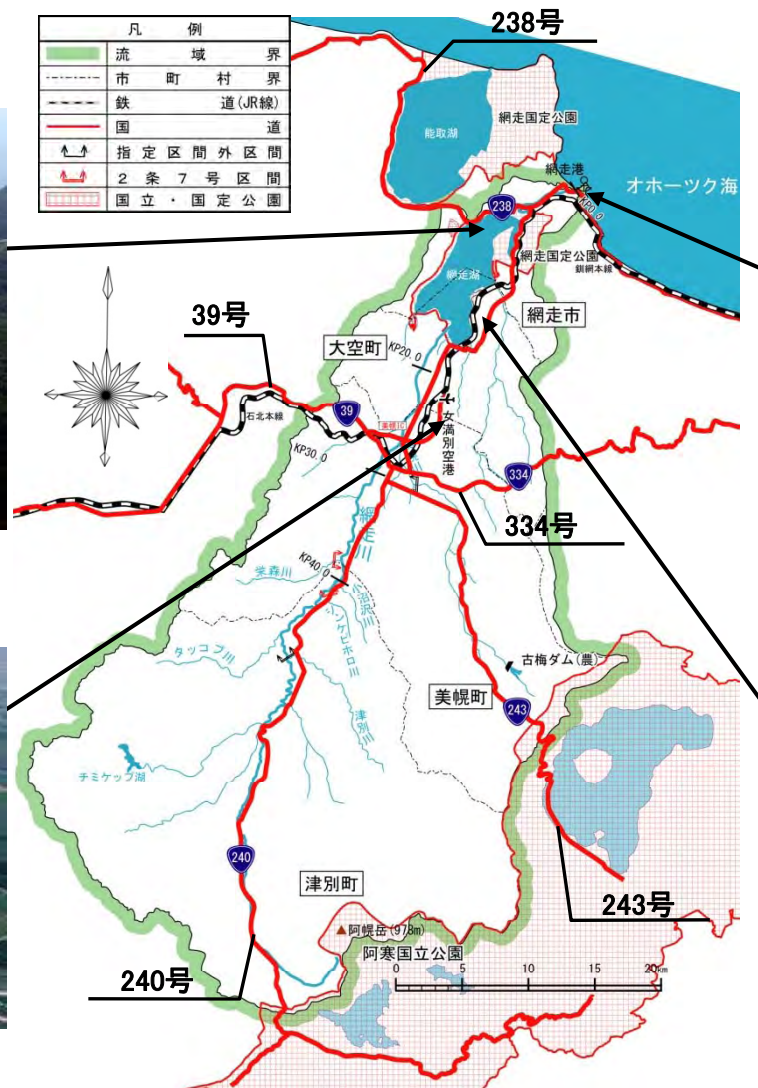
- 流域には、重要港湾である網走港、女満別空港が存在し、道内ならびに本州への旅客、物資の輸送が行われている。また、国道39号、238号、240号、243号、334号がある他、JR石北本線、JR釧網本線があり、オホーツク地方と道内各地を結ぶ交通の要衝となっている。



網走湖付近の国道39号と国道238号



オホーツク地方の空の玄関口となる女満別空港



流域内の主要交通網



網走川河口部に位置する
物流、漁業の基地となる網走港



網走と道央の旅客、物流を担うJR石北本線

写真出典：JR北海道ホームページ

- ・網走湖及び湖周辺は網走国定公園に指定されており、豊かな自然に囲まれている。
- ・観光客は、平成22年度にオホーツク圏域を訪れた約860万人のうち、36%にあたる約310万人が網走川流域の市町村を訪れている。観光客は、夏場の自然公園等の観光シーズンである5月～10月に多く訪れるほか、冬場の流氷接岸時期である2月も多く訪れている。



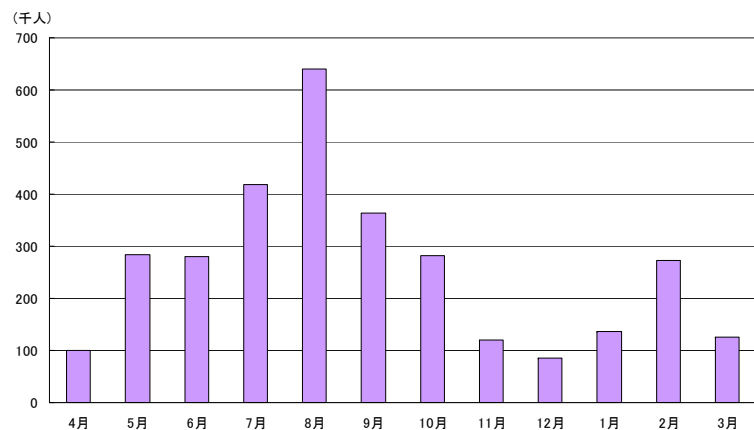
網走国定公園である網走湖の風景



網走道の駅から出航する
流氷観光砕氷船おーら(網走市)



網走湖の氷上で開催されるイベント
あったか網走(網走湖)
出典：網走市ホームページ



平成22年度 網走川流域内市町村 月別観光入込客数

出典：北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査報告書」
平成22年度版



網走川河畔公園で開催される
美幌和牛まつり(美幌町)



女満別湖畔を会場に開催される、めまんべつ観光夏祭りでのドラゴンボート競技会(大空町)